

鉄骨造屋内運動場耐力度簡略調査票

(表面)

都道府県					設置者名					学校名					学校調査番号					調査期間					平成年月日 ~ 平成年月日					氏名					平成年月日 ~ 平成年月日																																							
調査学校					校名					積延べ面積					積延べ面積					積延べ面積					積延べ面積					積延べ面積					積延べ面積					積延べ面積																																		
建物区分					棟番号					構造					階数					面					積延べ面積					積延べ面積					積延べ面積					積延べ面積					積延べ面積																													
屋内運動場					S					+					一階面積					一階面積					一階面積					一階面積					一階面積					一階面積					一階面積																													
調査建物					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者																								
調査建物					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者																			
調査建物					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者														
調査建物					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者									
調査建物					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者									
調査建物					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者					調査者				

学校種別	整理番号	結果点数	耐久度
構造耐力	A × B × C	保存	点
外力条	件		点

A 構造耐力	架構耐力性能 ・半スパン分* 妻面ブレースがある場合はその耐力分差を引く	方向	張り間	純ラーメン	けた行									
		階段	積雪時鉛直 P鉛雪	暴風時鉛直 P鉛風	地震時鉛直 P鉛震	地震時水平 nB P木震	部材耐力	節点	梁中央	の算定	最小値	判定式	点評	合計
			積雪時鉛直 P鉛雪	暴風時鉛直 P鉛風	地震時鉛直 P鉛震	地震時水平 nB P木震	節点	梁中央	の算定	最小値	判定式	点評	合計	
			積雪時鉛直 P鉛雪	暴風時鉛直 P鉛風	地震時鉛直 P鉛震	地震時水平 nB P木震	節点	梁中央	の算定	最小値	判定式	点評	合計	
			積雪時鉛直 P鉛雪	暴風時鉛直 P鉛風	地震時鉛直 P鉛震	地震時水平 nB P木震	節点	梁中央	の算定	最小値	判定式	点評	合計	
			積雪時鉛直 P鉛雪	暴風時鉛直 P鉛風	地震時鉛直 P鉛震	地震時水平 nB P木震	節点	梁中央	の算定	最小値	判定式	点評	合計	
			積雪時鉛直 P鉛雪	暴風時鉛直 P鉛風	地震時鉛直 P鉛震	地震時水平 nB P木震	節点	梁中央	の算定	最小値	判定式	点評	合計	
			積雪時鉛直 P鉛雪	暴風時鉛直 P鉛風	地震時鉛直 P鉛震	地震時水平 nB P木震	節点	梁中央	の算定	最小値	判定式	点評	合計	
			積雪時鉛直 P鉛雪	暴風時鉛直 P鉛風	地震時鉛直 P鉛震	地震時水平 nB P木震	節点	梁中央	の算定	最小値	判定式	点評	合計	
			積雪時鉛直 P鉛雪	暴風時鉛直 P鉛風	地震時鉛直 P鉛震	地震時水平 nB P木震	節点	梁中央	の算定	最小値	判定式	点評	合計	
	積雪時鉛直 P鉛雪	暴風時鉛直 P鉛風	地震時鉛直 P鉛震	地震時水平 nB P木震	節点	梁中央	の算定	最小値	判定式	点評	合計			
	積雪時鉛直 P鉛雪	暴風時鉛直 P鉛風	地震時鉛直 P鉛震	地震時水平 nB P木震	節点	梁中央	の算定	最小値	判定式	点評	合計			
	積雪時鉛直 P鉛雪	暴風時鉛直 P鉛風	地震時鉛直 P鉛震	地震時水平 nB P木震	節点	梁中央	の算定	最小値	判定式	点評	合計			

(イ + エ + カ + ク)
A

基礎構造	木くい	: 0.8	= Ra · u / P	1.5(1.0)	1.0	カ(オ × 20)
	RCくい、1本打	: 0.9		(1.0)1.5 >	直線補間	
	その他	: 1.0		1.0(0.5)	0.5	

* 両方向基礎梁付の場合は()とする。

B 保存度	経過年数 t	判別式	軽量型鋼T = 34 - t / 34		27 - t / 27		評点	合計		
	経過年数 (残存率T)	年・普通型鋼T = 34 - t / 34					ア・	1(ア × 30) 点		
	鉄筋腐食度 F	部材区分	鉄筋のさびの状況		評価		ウ	エ(ウ × 20) 点		
		軸組	なし	仕上げさび	部分さび	欠損さび	F = (f1 + f2) / 2 = () + () / 2			
	含アンカーボルト	f1	1.0	0.8	0.6	0.3	0.5以下は0.5とする			
		f2	1.0	0.8	0.6	0.3	0.5以下は0.5とする			
	座屈状況 N	部材区分	全体座屈		局部座屈		オ	カ(オ × 15) 点		
		軸組材	区分	無	軽微	明確	N = n1 × n2 = () × ()			
	柱の傾斜量 R	階	数	1	0.8	0.6	R = S / 200			
			けた行方向柱傾斜量S	張り間方向柱傾斜量S	cm	cm	判別式			
不同沈下	部位	内・外壁	基礎梁及び基礎立上り		平均値	1	2以下	3以下	ケ	コ(ケ × 5) 点
	ラ	ク				1.0	0.75	0.5	0.5以下は0.5とする	
接合方式 M	部位	リベット又は高力ボルト	溶接	普通ボルト(アンカーボルト)		評価		シ	サ(サ × 25) 点	
	軸組	良	変形	破損	亀裂	変形	亀裂	M = (m1) + (m2) / 2 = () + () / 2		
火災による疲弊度 S	露出柱脚	m1	1.0	0.7	0.4	0.6	0.3	0.2	0.5以下は0.5とする	
	露出柱脚	m2	0.6	0.3	0.2			0.5以下は0.5とする		
被災後被災評価面積	程度	構造体変質	非構造材全焼	非構造材半焼	煙害程度	当該階の床面積so	被災率s	判別式	評点	
	被災床面積	s1	s2	s3	s4	st = s1 + s2 × 0.75 + s3 × 0.5 + s4 × 0.25	s = st / so	S = 0	0 < S < 1	S = 1

B = (セ × ス) 点

C 外力条件	地震地域係数	地盤種別	積雪寒冷地域		海岸からの距離		評点
	四種地域	1.0	一種地盤	1.0	海岸から8kmを超える	1.0	C = (1 + 2 + 3 + 4) / 4
	三種地域	0.9	二種地盤	0.9	海岸から8km以内	0.9	C = (+ + +) / 4
	二種地域	0.85	三種地盤	0.8	海岸から5km以内	0.8	C = (+ + +) / 4

C

(裏面)

学校名	
調査者の意見	

- 1 調査建物の各階の平面図、断面図を単線で図示し、筋かいの位置は、他の壁と区別できるような太線とする。
- 2 寸法線と寸法(単位メートル)を記入する。
- 3 著しいさび、座屈については、平面図、断面図に図示する。
- 4 余白に縮尺、建築年、延べ面積を記入する。

Grid area for drawing and notes																							
---------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

